

令和3年度各部会及び第2回阿倍野区区政会議での書面によるご意見と対応一覧

[分類]

- ①当年度(3年度)において対応
- ②4年度に対応予定
- ③4年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④その他

番号	年月	会議	意見内容	対応(回答)	分類
1	R3.9	安全・安心部会	<p>【防災について】</p> <p>防災については素朴な質問をしても既成のどうでも良い回答しかなかったのが残念です。(疑問だらけの防災対策)</p> <p>例えば、災害時に備えて平素から自治会組織を育成し、災害時に活動してもらうことを想定していないのが不思議です。(住民が会員自治会、団体が会員地活協)</p> <p>本来は自主防災組織を作るのが理想ですが、無理です。私たちが住む自治会の成り手がなく、難儀しています。行政の末端は自治会です。自治会は班単位で構成されています。被害情報は班長→町会→連合→区役所と伝達されます。</p> <p>地域防災リーダーも町会長が願っていて、町会役員が兼ねていることが多い。地域の役員が兼務しているので、震災時に防災リーダーはおそらく地域を優先するでしょう。</p> <p>(越野委員)【ご意見シートによる意見聴取】</p>	<p>区内全10地域において自主防災組織を結成していただいております。10地域の自主防災組織の基盤である町会単位での訓練や研修など、地域の実情に合わせて支援し、地域防災力の向上を図ってまいりたいと考えております。</p>	①
2	R3.9	安全・安心部会	<p>【防犯、交通安全、防災について】</p> <p>コロナ禍のなか、社会生活との両立は大変困難でなかなか正解は見当たりません。コロナ禍で会議の休会も理解されるようですが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・犯罪(特殊詐欺・性犯罪・だれでもよかつた事件)が報道されています。 ・高齢者の交通事故も多発しています。(ブレーキの踏み間違い・逆走・健康課題) ・豪雨災害・河川の氾濫・土石流災害・頻繁に発生 <p>コロナ禍のなかでの対策に取り組んで頂きたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅・会館で出来る少人数DVD研修。 ・防災L研修・特殊詐欺対策・交通安全 ・のぼり旗の掲示で人の集まりを発生させない。 ・広報・区役所扱いの掲示板だけでなく、連合町会の掲示板も活用する。 <p>(久保委員)【ご意見シートによる意見聴取】</p>	<p>コロナ禍のなかでの対策につきましては、この間、職員による啓発活動や広報紙、SNS等を活用した啓発活動を行ってきました。</p> <p>各地域の会館におけるDVD等の研修につきましては、各地域のご協力をお願いし、開催してまいりたいと考えております。</p> <p>また、11月27日・28日に地域防災リーダー訓練を実施します。</p> <p>地域の掲示板の活用につきましても、ご協力をお願いし、広報の充実を図ってまいりたいと考えております。</p>	①
3	R3.9	安全・安心部会	<p>【地域ボランティアに対する寸借詐欺について】</p> <p>安全・安心部会のその他の項になりますが、去る7月13日、常盤地区におけるボランティアの方々につき、最近この地区に越して来たと言いい、子どもの見守り、良いことをしていますね、ぜひ参加させてもらいたいと申し出、その日ボランティアの横について実施され、その後常盤花づくり広場へ連合町会長と一緒に来られ、この花づくりも楽しそうですね、明日から嫁も連れて来るので参加させてほしい旨の回答をし信用させて、その後、本日家内が留守をしていて家を出るとき、財布も鍵も忘れて出て来たので金もなく家内が帰るまで食事できないので食事代を貸してもらえないか、明日必ず返金しますと言いい、2人から借金し帰りました。その後、顔も見せず嘘だと判明、言わば寸借詐欺です。こういう事件が発生いたしました。阿倍野区内のボランティアの皆さまもかからないように!!</p> <p>(宮本委員)【ご意見シートによる意見聴取】</p>	<p>情報を共有いただき、ありがとうございます。</p> <p>9月17日に開催しました地域連絡会議において、各地域活動協議会会長、各連合町会長のみなさまに情報を共有し、地域の方々にもご周知いただきたいとお願いいたしました。</p> <p>詐欺等の防止啓発については、引き続き広報紙やSNS、地域での出前講座を活用して行ってまいります。</p>	①

【分類】

- ①当年度(3年度)において対応
- ②4年度に対応予定
- ③4年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④その他

番号	年月	会議	意見内容	対応(回答)	分類
4	R3.9	福祉・健康づくり部会	<p>【阿倍野区運営方針経営課題3について】 経営課題3の中身を増やし、項目を追加・整理する。 ・3-1-1 みんなで支えあう地域づくり 「要援護者の実態把握から地域の福祉課題やニーズの把握を行い、地域自らが見守り体制を構築し、新たなネットワークづくりができるように支援します。」 ここで、例年と同じように、オレンジメールと安心ステーションの取り組みだけを取りあげるのではなく、コロナ禍が続く中で、阿倍野区民の福祉課題・ニーズ、困っている現状をより把握するためにはどういう取り組みが必要なのか、そしてその現状・課題を分析して、より適切なサービスを提供し、住民とおしの支え合いの仕組みや活動をどう支援するのかの検討を進めることが必要かと思えます。そのために、要援護者の登録者数、見守りボランティア活動数、認知症サポーターへの研修の目標のみでなく、その内訳の変化の分析や、地域福祉コーディネーターによる相談件数、内容、支援の結果等をふまえて、どのように充実していくのか。また、認知症サポーターにどのような役割を担ってもらうために研修するのか等にも言及すればどうでしょうか。従来から、計画には①「あべの安全安心見守り支え合い隊」事業と②「地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業」という記載ですが、専門職が担う部分と地域住民が担う部分が混在していて分かりにくいと感じます。この項目の見せ方を整理して、項目に分けて、例えば、 3-1-1 福祉課題・ニーズの把握とサービスの提供 ・要援護の詳細情報の把握と名簿への登録(登録件数のみでなく、登録者の分析) ・見守り相談室の相談件数・内容・支援内容等 ・福祉コーディネーターの配置と活動(件数・相談支援内容等) ・適切なサービスを届けるための支援、及び区民への周知徹底、区独自の取り組み ・要援護者の個別支援のための連絡調整 ・見守り体制の構築に向けた、地域団体・関係機関等と連携した取り組み推進 3-1-2 住民とおしの見守りのネットワーク ・見守り訪問のボランティア活動(件数・内容・活動状況・成果・課題等) ・あべのオレンジメール(件数・内容・活動状況・成果・課題等) ・あべのあんしんステーション(件数・内容・活動状況・成果・課題等) ・その他の活動(認知症カフェ等) 3-1-3 新しい活動の推進 ・新しい取り組みを創造する活動への支援 ・地域のボランティア活動の推進とボランティアの発掘・育成 ・認知症サポーターへ向けた研修・講演会の実施(活動内容や役割等) 3-1-4 受け止める相談支援体制の充実 ・総合的な支援調整の場(つながる場)の開催 ・要援護者の個別支援のための連絡調整 ・見守り体制の構築に向けた専門職の連携 3-2 地域福祉計画推進支援事業 【追加】 3-3 地域ぐるみで、いつまでも元気に暮らせる健康づくり 3-3-1 区レベルの保険医療体制の整備【追加】 感染症等医療がすぐに必要な場合の区の対応、困らない医療体制の整備等 3-3-2 健康づくり推進事業 3-3-3 地域に密着した食育の推進 (中村委員)【ご意見シートによる意見聴取】</p>	<p>来年度の区運営方針の策定に向けて、経営課題3【誰もが幸せに暮らし続けられるまち】について、具体的なご提案をいただきありがとうございます。 ご提案の趣旨をふまえ、福祉課題・ニーズを的確に把握する仕組みや、より適切なサービスを提供するための、住民どうしの支え合いの仕組み・活動への支援方法について検討を進め、新年度運営方針案に反映させてまいります。 区レベルの医療体制の整備に関しては、大阪府・大阪市(健康局)がそれぞれ所管となって整備を行っています。感染症予防策の充実については、健康局と情報共有を行い、区としては区医師会・歯科医師会・薬剤師会と連携して正確な情報発信・共有に努めてまいります。</p>	① ②
5	R3.9	福祉・健康づくり部会	<p>【ひとり親世帯や生活困窮世帯に対する取り組みについて】 子ども食堂の案内(一覧など)をもっと阿倍野区として広報すると良いのではないかと思います。特にひとり親世帯や生活困窮世帯に対しては、積極的に案内すべきだと思います。コロナ禍で、1週間分の食料「食事バック」を提供している地域もあるようです。地域のつながり、地域で支えられているということが、実感できるような取り組みを推進してほしいと思います。 (高市委員)【ご意見シートによる意見聴取】</p>	<p>本市では、子ども食堂等を開設する団体や市民の活動を支援し、地域で子どもを育む機運の醸成を図るために、企業や社会福祉施設が参加する、「子ども支援ネットワーク事業」を構築し、当区においては、7地域9団体の活動が、「地域子ども支援ネットワーク事業」(事務局:大阪市社会福祉協議会)のホームページで紹介されています。 当区においても、支援が必要な世帯に必要な情報が届くよう取り組みを進めます。そのひとつとして、8月から子育て支援担当において、「ひとり親家庭等食材支援プロジェクト」(主催:阿倍野区社会福祉協議会実施)の周知活動に協力しています。</p>	①

[分類]

- ①当年度(3年度)において対応
- ②4年度に対応予定
- ③4年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④その他

番号	年月	会議	意見内容	対応(回答)	分類
6	R3.9	福祉・健康づくり部会	<p>【阿倍野区のプランを前進させる取組みの展開について】 (部会資料2ページ)令和4年度施策展開へのご意見 コロナ禍において持続可能な取組みの方法 ・区役所、社会福祉協議会、各地域の事業(取組み)について、工夫すべき点 ・コロナ禍にこそ取り組むべきことなど</p> <p>何度も意見に書いていますが、区役所が「何をやっているか」が見えるように表現する必要があると感じます。多くは支援しているのだから、実働は地域の人や団体だと言えるからです。地域の人や団体が動かなかつたら実績も出ません。例えば、要援護者名簿の登録の活動を実際に行っているのは、町会と地域コーディネーターです。 計画時点での文章表現も行政が実働する内容なら結構ですが、そうでない部分は「応援します」を強調して黒子役を示すのが良いと思います。 事前送付された資料から見える(回数表記だけでなく参加者数も記載を)のですが、計画倒れになることは見えていましたから、昨年の夏頃から「コロナへの積極的対応」を訴えてきたのですが具体的な行動がなされないまま1年が経過したと感じています。 昨年にはPCR検査を積極的に実施しないという通達があったとの情報もあります。今になって、国も積極的検査実施の方向に切り替えているようですが、疫学上の対応としては当然のことで、昨年の夏に意見を申し上げた「阿倍野区として積極的に取り組んでほしい」が時期を逸してしまったのです。(役所が委員と情報共有する姿勢の欠如?) この間に、り慮して苦しんだり、関連による経済的困窮者(自殺も含め)の情報を区内で握ったまま公表しないのは、本当の意味で地域のために存在する「区役所」なのだろうか疑問に感じます。(全責任は代表の区長でしょう) コロナ禍での持続可能な取組みについて 今からでも、積極的検査の具体的手順を作って、必要なイベントを絞り込み参加者への検査とワクチン接種証明による安全・安心な事業開催にはいかかがでしょうか。この手順は、経済活動再開の参考になると考えます。 政府の呼びかけに「お盆の時期に他府県に出かけるならPCR検査を受けてください」というのがありますが、PCR検査体制の拡充について、今からでも地域として工夫して「受ける側」「実施する側」共に、流れや手順について知恵を結集して、将来(大阪万博)への投資となるように思います。 抗体カクテル療法は、すでに大阪の十三病院で実施されていますが、ネックは自宅療養には適応されないとされていることです。 訪問看護師の活用(全国に訪問看護ステーションが1200か所・訪問看護師約6万人。単純計算で1ステーションに5人)は有効な手段といえますが、医師ではないから医療業務は医師の指示書に従うことになり、医療保険の指示書として出せる工夫をしてもらえれば自宅療養中の人への訪問看護で処置が行えて医師の負担を軽減できる体制を作りこむことができるように思います。 安全・安心のまちづくりを目標にする阿倍野区の取組みとして「安全・安心なまちづくり」にどうすれば近づけるのか? 私たち委員は、素人で発想には限界があります(基礎的知識の不足)。勉強会を開催してもらって少しでも行政担当者に近い土俵でブレインストーミングができればと考えます。 特に高齢の独居者の一人一人の行動をどのように支えられるのか。また、独居でない場合の家族のサポートはどうあればよいのかなどの共通認識(地域全体として)の不足が気になります。 コロナ禍が1年半経過してしまっているのですが、まず、コロナ前にできていた事を継続させるために(阿倍野区のプランはこの視点に立っている)工夫すべきことは、大きな成果を求めずやれる事を見つけることにあると言えます。 「原点に戻って、基本を見つめなおし(クリエイティブに)、誰もができる(ダイナミック)手法」を地域の見守り関係者と行政担当でブレインストーミングして、阿倍野区のプラン(コロナ前にできていた事)を前進させるような取組みが展開できたらと考えます。 (北村委員)【ご意見シートによる意見聴取】</p>	<p>大阪市における新型コロナウイルス感染症のPCR検査は、接触者外来医療機関をはじめ、各検体採取場所において、ドライブスルー、ウォークスルーなどの手法も取り入れ、平日、土日祝日においても検査を実施しています。また、市内各医療機関でも発熱外来を通じた積極的な行政検査が行われているところです。今後も大阪府と市が連携し、医療・検査体制の充実を図ってまいります。</p> <p>現在、大阪府・市では「抗体カクテル療法」について、入院中の方はもとより、宿泊施設に入所されている方、また自宅で療養されている方においても、医療型宿泊療養施設「大阪府ホテル抗体カクテルセンター」や「抗体カクテル外来案内センター」の設置・運用開始により抗体カクテル投与による治療が行われています。また、自宅療養の方への支援強化については、夜間・休日における往診体制の整備に加え、大阪府医師会の協力のもと、日中の往診体制も開始しています。</p> <p>要援護者名簿の登録について、本市は、「見守り相談室」の設置や各地域への地域福祉コーディネーターの配置などを区社会福祉協議会に委託するとともに、地域団体への名簿の提供などの業務を行っています。引き続き、区社会福祉協議会、地域の皆さまと連携しながら、要援護者の情報把握と名簿への登録を支援させていただきます。</p> <p>ひとり暮らしの高齢者、夫婦のみの高齢者世帯への日常的な生活支援については、区社協の「見守り相談室」、地域福祉コーディネーター、地域包括支援センター、ランチなどの相談支援機関が連携して取り組んでいます。これまでの取組みを前進させるため、区政会議部会などの場で、議論させていただきたいと考えております。</p> <p>区政会議委員の皆さまには無償のボランティアとしてご参加いただき、阿倍野区で取り組んでいる内容について、1つ1つの事業までご説明できてはませんが、新しく区政会議委員になられる方へ資料を用いてご説明させていただくとともに、部会開催時や委員の皆さまへの情報資料提供等で少しでもご理解いただけるよう努めてまいります。</p>	① ②

[分類]

- ①当年度(3年度)において対応
- ②4年度に対応予定
- ③4年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④その他

番号	年月	会議	意見内容	対応(回答)	分類
7	R3.9	福祉・健康づくり部会	<p>【医療や福祉について】</p> <p>コロナ感染で明らかになりましたが、広域での医療体制とともに、区の医療充実や緊急時の医療体制整備が重要ですので、「健康づくり」のテーマについては医療も一体として医師会と連携した検討をお願いしたい。また、人のつながり、相談支援の充実、総合的なまちづくりをさらに期待します。地域福祉コーディネーター拡充のご検討もお願いします。「つながる場」のネットワークの安定的な組織が重要と思います。(永岡委員)【ご意見シートによる意見聴取】</p>	<p>区レベルの医療体制の整備に関しては、大阪府・大阪市(健康局)がそれぞれ所管となって整備を行っています。感染症予防策の充実については、健康局と情報共有を行い、区としては区医師会・歯科医師会・薬剤師会と連携して正確な情報発信・共有に努めてまいります。</p> <p>本市においては、高齢者の支援ニーズと地域資源の把握や、ボランティア等の生活支援の担い手の養成、関係者間のネットワークの構築、地域に不足するサービスの創出などの役割を担う「生活支援コーディネーター」を各区に配置し、今年度からは日常生活圏域(当区では3地域)ごとにも配置するなど体制の充実を図っています。地域福祉コーディネーターと連携しながら、人とのつながり、相談支援の充実に取り組んでまいります。</p> <p>「つながる場」に参加する各相談支援機関の連携を推進するため、引き続き、各機関を紹介する「つながるガイドbook」の作成・配布、連携ツールの開発、各機関を対象とした研修会の開催に取り組みます。</p>	①
8	R3.9	福祉・健康づくり部会	<p>【「フレイル」進行を防止するための取組みについて】</p> <p>コロナの感染拡大によって外出自粛が続き、身体や認知機能が低下した「フレイル」の進行が懸念されます。阿倍野区ではウォーキングイベントやいきいき百歳体操の支援に取り組んでおられますが、アフターコロナにさらなる対応が必要と思われます。また介護保険料の上昇抑制のためにも対策が必要です。各自治体が効果的な取組みをしておられることをテレビや新聞で知りましたが、このような例を検討されてはいかがでしょうか。実情に応じた阿倍野区独自のオリジナルな取組みができればさらに魅力的だと思います。(岡島委員)【ご意見シートによる意見聴取】</p>	<p>大阪市では、現在、75歳以上の後期高齢者医療健康健診受診票から把握できる「高齢者質問票」の内容を活用し、フレイル予防のための対策を担当部局で検討中です。</p> <p>また、阿倍野区でコロナ感染拡大前に実施していました、ウォーキングやいきいき百歳体操などの取組みを再開し、フレイル予防のための取組みを進めていく予定です。</p> <p>その他にも、阿倍野区社会福祉協議会が主体の「あべのちょこっと体操」DVD作成に協力し、自宅で取り組める体操の普及啓発にも協力していく予定です。</p>	④
9	R3.9	まちづくり部会	<p>【コロナ禍での行事のオンライン開催について】</p> <p>コロナ禍での行事について、本当に主催される側は大変だと考えますが、やはり区民の皆さんが毎年大勢参加されていたことを考えると、ぜひ、何らかの形で開催していただきたいと考えます。オンラインや動画配信、とてもいい取組みだと思います。「あべのカーニバル」の動画配信、私が所属する阿倍野区食生活改善推進員協議会も、今年は参加させていただいております。参加される団体が増えるといいですね。</p> <p>また、オンラインの開催について、例年のようなブースを配置して、そこに入っていきような感じになるような、体験型になると良いと思います。入場すると、順番にいろいろなブースに行ける、そこに入るとその団体のゲームができたりする、ちょっと高度かもしれませんが、そうすることで若い方の参加も増えればいいかと考えます。いろいろ大変ですが、皆さまの取組みに期待しています。(上川委員)【ご意見シートによる意見聴取】</p>	<p>各イベントにおいては、現地での開催を基本としていますが、今後も新型コロナウイルス感染症等の状況に応じて、オンライン開催を含め、多様な選択肢を随時検討しながら、事業を進めてまいります。</p> <p>また、阿倍野区における感染防止策とともに、区民の皆さまの利便性の向上のため、区内各地域の方々にご参加いただく各種会議や区役所への手続き等において、新たなチャレンジとして「オンライン化」の取組みを進めています。</p> <p>[取組みの一例]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○あべのカーニバルやあべのスポーツフェスタ、親力アップ講演会を、YouTubeで動画配信しました。 ○各種地域団体との会議や区政会議、フォーラムなども、オンラインでの開催に挑戦しています。 ○住民票の写しの交付請求、児童手当の申請、各種検診の申込みなどの手続きがオンラインで可能です。 	①
10	R3.9	まちづくり部会	<p>【コロナ禍での取組みについて】</p> <p>コロナ禍だからこそできること、すべきこと</p> <p>区民の皆さんが、自粛を余儀なくされる中で、今、阿倍野区が現在どういう状況にあるのかを皆さんに分かっていただくのは大切なことかと考えます。</p> <p>「あべのブランド」の発信はとても有効だと思います。外部の人にも発信できるし、区民の人でも改めて知ることがあると思います。(私自身、先日、区民センターの展示で「阿倍野筋遺跡」について知り、阿倍野の歴史を改めて考えました。)「あべのブランド」の発信には、さらに磨きをかけていただきたいです。</p> <p>また、学校生活の中で、どのようなクラブ活動がされているかを紹介する、デイサービスやホームの状況について現状を紹介する等、家にいながらも、阿倍野のことが分かるのもいいと思いますし、防災等の現状(いい点も問題点も)についても、特に興味がなくとも、ふっと知る機会がある、そういう状況を作り出していれば、底辺がしっかりしてくるかと考えます。(上川委員)【ご意見シートによる意見聴取】</p>	<p>「あべのブランド」の発信については、多くの区民のみなさまに親しみを持っていただけるよう、令和4年度も新たな視点を用いて更なる充実を図り、発信していきたいと考えております。</p> <p>各校のクラブ活動については、「阿倍野区学校案内」に情報を掲載しており、この内容は区ホームページでもご覧いただけます。また、各校ホームページには各種行事の他、学校活動の様子なども適時詳細に掲載されていますので、ぜひご覧ください。</p> <p>デイサービス(通所介護)や特別養護老人ホームなどについては、情報提供により円滑な利用が推進されるよう、本市が協力して民間会社が「ハートページ」を作成し、無料配布されています。また、この「ハートページ」はインターネットでもご覧いただくことができます。</p>	① ②
11	R3.9	まちづくり部会	<p>【阿倍野区区政会議について】</p> <p>阿倍野区区政会議に期待すること。</p> <p>区政会議、コロナ禍は別として会議(話し合い)らしい会議もせず目先の課題やすでに決まっている抽象的な課題を追認するだけの会議のように感じました。</p> <p>私の思いは、大所高所から阿倍野区区政会議独自の理念として今回のコロナ禍で社会問題になっている「安全・安心」「孤独・孤立」についてどう考え、どう諸問題や諸施策に活かしていくかを実践してみたかった。今回のコロナ禍が退散収束して良かった、良かったで済ませず、コロナで亡くなった方や罹患者そして全国民が等しく無した年月を無駄にしないために、気を引き締めてこれからの区政にどう活かしていくかが問われています。(越野委員)【ご意見シートによる意見聴取】</p>	<p>区政会議は、各区において、区長の所管に属する施策及び事業について、立案段階から意見を把握し適宜これを反映させるとともに、その実績及び成果の評価にかかる意見を聴くことを目的として開催しています。</p> <p>これまでにいただきましたご意見の区役所の考え方をお示するとともに、いただきましたご意見を適宜反映し、阿倍野区政の取組みを進めてまいりました。</p> <p>コロナ禍で開催や活発な議論を交わしづらい状況もありますが、全体会や部会でご意見をいただき、より良い阿倍野区政に活かしてまいります。</p>	①

[分類]

- ①当年度(3年度)において対応
- ②4年度に対応予定
- ③4年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④その他

番号	年月	会議	意見内容	対応(回答)	分類
12	R3.9	まちづくり部会	<p>【部会の在り方について】</p> <p>まちづくり部会「令和4年度施策・方針について」資料を見せていただき、皆さんに意見を出していただくには、まずは</p> <p>①「区政会議・まちづくり部会」とは、どのような事柄を協議していく場なのか。</p> <p>②区役所としての回答のもと、一つ一つ皆さまの貴重な意見をお聞きする。</p> <p>例えば、阿倍野区運営方針の具体的な取組4-2-1では、2・3年度の報告をいただいているが、部会のメンバーは報告されてからしか分からなかった。区役所で進めていただくのはいいのですが、途中・途中で部会メンバーに密に報告をしていただき、「私はまちづくり部会の一員です」と自覚を持っていただくことが必要と思います。</p> <p>(高岡委員)【ご意見シートによる意見聴取】</p>	<p>部会で委員の皆さまからご意見をいただく事項については、新しく区政会議委員になられる方へ資料を用いてご説明させていただくとともに、部会開催時に部会委員へお示しし、部会等でご意見をお伺いさせていただきます。</p> <p>また、区役所の取組みのお知らせについては、委員の皆さまへの情報資料提供等で随時情報提供に努めてまいります。</p>	① ②
13	R3.9	まちづくり部会	<p>【区政会議の情報発信について】</p> <p>大阪市として意義のある区政会議は、「だれのために・なんのためにあるのか」を知ってもらうためにも広く効果的に情報公開してもらえることを願っています。</p> <p>地域の代表として参加している委員がどのように会議に参加しているかが見えるように、意見概要を地域に公開する必要があると感じます。理由:ホームページ掲載は「行政としてやっています」の記録にはなるようですが、区民のどれほどがホームページ閲覧をしているのが見えないからです。</p> <p>残念ながら現時点では地域活動に意識の高い年齢層は、年齢の高い層にあるといえ、その人たちが区役所のホームページ閲覧をしているとは考えにくいからです。</p> <p>日ごろから、区役所のホームページを通して地域の人々(特に高年齢層)との接点が多くなる取組や活動が行われていてこそ、「区役所のホームページによる情報発信を行っています」という説明が成り立ちます。それでも、回覧等の紙媒体での情報発信がなされることが「丁寧」な心配りでしょう。</p> <p>伝わってこそ意味があります。そして、そのためにも「見てくれる工夫」が求められると思います。(行政はサービス業です)</p> <p>区役所のホームページをツールにして、阿倍野区住民の行政サービスへの関心度をリサーチできると思います。(年齢層と「いいね」だけなら簡単に情報収集可能)</p> <p>このような努力をしてもらっての自己評価になってもらえたらと思います。</p> <p>様々なリサーチで「サクラ」も使われることが言われていますが、形式的な数字をならべても地域のことですから実態と合っているかを判断できる力は市民にはあるので、空虚なデータ表示は意味がないどころか意識が離れるという結果を招くと思っています。</p> <p>(北村委員)【ご意見シートによる意見聴取】</p>	<p>区政会議については、これまでも会議資料、議事録、委員のご意見と区役所の考え方をホームページに掲載するとともに、随時広報紙やホームページで開催状況をお知らせしてまいりました。</p> <p>新たな区政会議委員の募集などの行政からのお知らせの際には、必要に応じて各町会でのポスター掲示をご依頼させていただいていますが、ご意見をいただいておりますとおり、区民の皆さまに伝わってこそその情報発信が大事だと認識しておりますので、引き続き広報紙等の紙媒体を利用した情報発信にも努めてまいります。</p>	①